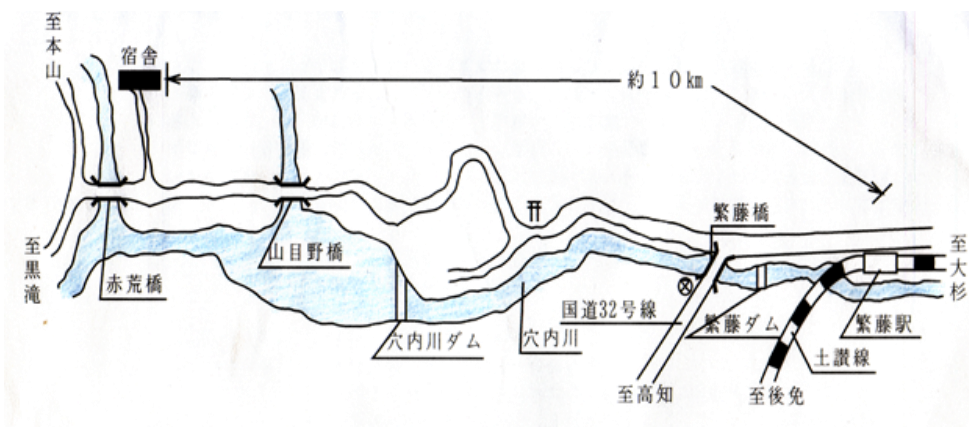


科 目 名	総合実習	単 位 数	4 単位	学科・学年	森林総合 科 2 年																																												
使用教科書				副教材等																																													
学 習 目 標	農業の見方・考え方を働かせ、実践的・体験的な学習活動を行うことなどを通して、農業の各分野の改善を図る実践的な資質・能力を次のとおり育成することを目指す。 (1) 農業を総合的に捉え体系的・系統的に理解するとともに、関連する技術を身に付けるようにする。 (2) 農業に関する総合的な課題を発見し、農業や農業関連産業に携わる者として合理的かつ創造的に解決する力を養う。 (3) 農業の総合的な経営や管理につながる知識や技術が身に付くよう自ら学び、農業の振興や社会貢献に主体的かつ協働的に取り組む態度を養う。																																																
学 習 評 価	○ 次の3つの観点に基づき、学習内容のまとまり(定期考査までを学習のひとまとまり)ごとに下の評価規準により評価を行い、学年末に5段階の評定に総括します。 <table border="1"> <tr> <td>①知識・技術</td><td colspan="5">森林・林業に関する総合的な知識と技術や、経営と管理の手法について理解するとともに、総合的な技術を身に付けようとしている。</td></tr> <tr> <td>②思考・判断・表現</td><td colspan="5">森林・林業に関する総合的な知識と技術や、経営と管理の手法に関する課題を発見し、科学的な根拠に基づいて創造的に解決しようとしている。</td></tr> <tr> <td>③主体的に学習に取り組む態度</td><td colspan="5">森林・林業に関する総合的な知識と技術や、経営と管理の手法について、主体的かつ協働的に取り組もうとしている。</td></tr> <tr> <td rowspan="5">評価方法</td><td>観点</td><td>①</td><td>②</td><td>③</td><td></td></tr> <tr> <td>学習状況観察</td><td>◎</td><td>◎</td><td>—</td><td>自己評価の実施</td></tr> <tr> <td>ワークシート</td><td>◎</td><td>○</td><td>○</td><td>実習ファイルの使用</td></tr> <tr> <td>課題レポート</td><td>○</td><td>◎</td><td>○</td><td>適宜提出</td></tr> <tr> <td>ペーパーテスト</td><td>—</td><td>—</td><td>—</td><td></td></tr> </table> ※表中の◎は観点の中でより重視するところです。					①知識・技術	森林・林業に関する総合的な知識と技術や、経営と管理の手法について理解するとともに、総合的な技術を身に付けようとしている。					②思考・判断・表現	森林・林業に関する総合的な知識と技術や、経営と管理の手法に関する課題を発見し、科学的な根拠に基づいて創造的に解決しようとしている。					③主体的に学習に取り組む態度	森林・林業に関する総合的な知識と技術や、経営と管理の手法について、主体的かつ協働的に取り組もうとしている。					評価方法	観点	①	②	③		学習状況観察	◎	◎	—	自己評価の実施	ワークシート	◎	○	○	実習ファイルの使用	課題レポート	○	◎	○	適宜提出	ペーパーテスト	—	—	—	
①知識・技術	森林・林業に関する総合的な知識と技術や、経営と管理の手法について理解するとともに、総合的な技術を身に付けようとしている。																																																
②思考・判断・表現	森林・林業に関する総合的な知識と技術や、経営と管理の手法に関する課題を発見し、科学的な根拠に基づいて創造的に解決しようとしている。																																																
③主体的に学習に取り組む態度	森林・林業に関する総合的な知識と技術や、経営と管理の手法について、主体的かつ協働的に取り組もうとしている。																																																
評価方法	観点	①	②	③																																													
	学習状況観察	◎	◎	—	自己評価の実施																																												
	ワークシート	◎	○	○	実習ファイルの使用																																												
	課題レポート	○	◎	○	適宜提出																																												
	ペーパーテスト	—	—	—																																													
履 修 上 の 注 意	1. 実習場所 香美郡土佐山田町上穴内 高知県立高知農業高等学校演習林(面積125ha) 2. 宿泊場所 演習林宿舎(Tel:0887-57-9808) 昼間は不在のため、早朝または夜でなければつながない場合があります。 																																																

学期	学 習 内 容	時 数	学 習 の ね ら い	学習活動(評価方法)
1 学期	演習林実習の事前準備	4	・演習林で行う調査の方法や器具の使い方を実践を交えて学習します。	年間を通じて次の学習活動を行います。 【学習状況の観察】 授業展開の中で、その時々々の学習目標に対応した発言、また、技術を習得しようとする積極的な態度が見られるか。 【提出物】 記録用紙がきちんと丁寧に書かれているか。また、提出物が期日までに提出されているか。
	測量(コンパス測量)	12	・演習林実習で得た測量成果を利用して、計算処理やデータ整理、GISへの応用など知識やぎy通を身に付けます。	
	測量(セオドライト)	12	・測角機器の据え付けを学習し、知識と技術を身に付けます。	
	四国森林管理局ICT活用講習	4	・森林計測で活用するドローンやレーザー測量機器の講義や演習を通して、先進的な知識や技術を身に付けます。	
	農業クラブ鑑定競技に向けて(校内農業鑑定競技)	4	・校内農業鑑定競技に向けて学習を行い、校内大会では競技大会を実施します。基本的な林業機器の名称や目的を学習します。	
2 学期	測量(角測量)	12	・踏査・選点・測距・測角・計算・製図の一貫した流れを学習し、測量に必要な知識と技術の習得を目指します。	
	森林科学(ロープワーク)	6	・集材や運搬に必要なロープの編み方を実践を通じて学習します。	
	森林科学(ワイヤー)	6	・ワイヤーの種類やその用途別を理解し、集材に必要なワイヤーの編み方を実践を通して習得します。	
	現場体験学習(山地災害防止)	6	・「森林経営」と連動し、座学で得た知識をより深く理解するために現場に行きます。時代の移り変わりを体験を通じて感じます。	
	森林経営(毎木調査)	9	・毎木調査の事前・事後学習を行います。調査用具の使用方法や野鳥の記入、また森林資源調査結果を修集計しデータ整理を通して知識や技術を総合的に学びます。	
3 学期	科内課題研究発表会	2	・3年生が1年間かけて研究、学習した内容を知り、来年度の自分のテーマを考えます。	
	校内管理作業	28	・枝打ちや剪定、草引きなどの校内の管理作業を行います。自らの手で学校環境を整えながら草木の状況や作業をする適切な時期を学びます。	
演習林実習	演習林実習(コンパス測量)	35	・「森林経営」と連動し、座学で得た知識をより深く理解し、技術を習得するために行います。	年間を通じて次の学習活動を行います。 【学習状況の観察】 授業展開の中で、その時々々の学習目標に対応した発言、また、技術を習得しようとする積極的な態度が見られるか。 【提出物】 記録用紙がきちんと丁寧に書かれているか。また、提出物が期日までに提出されているか。
	演習林実習(管理実習)		・「森林科学」連動し、座学で得た知識をより深く理解し、技術を習得するために行います。	
	演習林実習(森林資源調査実習)		「森林科学」と連動し、実践します。特に間伐に対する技術を習得し、その技術の向上を目指します。	